

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	まちづくりサポートプロジェクト 【事業費予算2,000千円】
事業目的・概要	【目的】 江南区をPRできるイベントやコミュニティの活性化、人口減少対策に向けた地域の取り組みをサポートすることで、江南区のさらなる魅力発信および地域の課題解決につなげる。 【概要】 ・区内で実施するイベントへ参加し、江南区や区自治協議会のPRを図る。 ・公共交通に関する勉強会の実施
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◎公共交通に関する勉強会の実施 ・大江山地区で実施されたアンケート調査の結果等を活用して、現状の地域公共交通に関する課題について認識を深めた。 ・人口減少・少子超高齢化が進む一方で、現状では、車を運転できることを理由に公共交通の利用意識が低い傾向にあり、移動手段が限られている子どもや高齢者の生活交通の確保策が課題に挙げられた。 ・今後はバスだけでなく、タクシー（デマンド交通含む）や地域での助け合い、目的バスの有効活用など、地域に即した移動手段を構築する必要があるとの意見が挙げられた。 ・その他、江南区生活交通改善プランの見直しに向けて、江南区地域公共交通検討会議に部下員（3名）が出席するとともに、会議結果等を部会で共有し、議論に生かした。 ※江南区や区自治協議会のPRを図るため、「新潟ハーフマラソン」でブース設置し、フォトスポットの設置やオリジナルクリアファイル、江南区の特産品を生かしたふるまいドリンクの提供を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により大会が中止となったため、事業実施に至らなかった。
事業の評価 <small>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</small>	【公共交通に関する勉強会】 ○現状を知ることから始める必要があったため、区バス・住民バスをはじめとした様々な移動手段について、基本的なところから勉強会をスタートした。大江山地区の現状などを共有することで、現状の課題認識をより深めることができた。 ○地域に即した移動手段も様々であり、どのような手法があるのか、引き続き部会で勉強会を継続する。（有識者等による講演なども検討） ○令和2年度には、新たな移動手段の構築に向けて区内で実証実験も予定されていることから、その成果を部会でも共有し、各地域に生かせるよう認識を深める。 【新潟ハーフマラソンへの協力】 ○大会が中止となったため実施に至らなかったのは残念であったが、検討段階では、前年度の取り組みを踏まえ、よりランナーや来場者がブースに来てもらえるよう見直しを図る計画とした。 ○コミュニティ協議会や区自治協議会の認知度は、まだまだ低いことから、次年度もイベント等を活用した広報活動を継続する必要がある。
備考	